

## 指針2 持続可能な商店街に向けた活性化支援



### 【方向性① 商店街のにぎわい向上支援】

#### ● 商店街のにぎわいをもたらす事業への支援

単一商店会では経費や人員の制約により実施可能な企画が限られてしまう現状があります。商店会同士の交流を促進し、複数商店会での共催や若手や女性などの新たな人材を活用した企画を支援することで、より多彩なイベントを増やし、商店街のにぎわい創出を目指します。区内の大小様々な商店街が、イベントを通じてそれぞれの特色特徴を内外にアピールし、そのにぎわいが面的に拡がり、商店街やまち全体の活気につながるよう事業を推進していきます。また、商店街の空き店舗に事業者を誘致するなど、商店街の活性化と担い手の確保を支援します。



商店会イベント

#### ● 来街者が利用しやすい商店街づくりへの支援

集客力や来街者の利便性の向上を図るため、商店会が作成するホームページやマップなどの販売促進事業を支援します。また、回復してきているインバウンド\* に対応するため、多言語化やキャッシュレス\* 化に取り組む事業への支援を強化し、商店街が観光の目的地となり、更に来街者が増えてより一層にぎわう商店街を目指します。

### 【方向性② 地域連携によるコミュニティ強化】

#### ● 他団体との連携強化

商店街だけでなくまち全体の活力を創出するため、大学生が商店会へ活性化策を提案するなど商店会と大学や町会などとの連携を促進し、地域の文化資源や観光資源を活かしたにぎわいの創出を図るとともに、商店会を核とした地域コミュニティを強化します。

### 【方向性③ 安全・安心で持続可能な商店街づくり】

#### ● 安全・安心な商店街づくりへの支援

来街者が安全・安心に買い物ができるよう、老朽化した街路灯の整備を推進するとともに、LED街路灯の設置など環境に配慮した事業を強化します。

また、商店街の路面店の空き店舗は、街の景観を損ねるとともに防犯面の問題も指摘されています。地域の大学が空き店舗を活用してアンテナショップを企画・運営した取組を参考に、商店街内の個店に近隣大学の学びの場を誘致するなど、さらなる空き店舗対策を推進します。



商店会街路灯

## ● 商店街の維持・発展

商店街の減少を防ぐだけでなく商店街をより発展させていくため、会員加入促進を支援するとともに、各会員店舗の経営力強化を図ります。合わせて商店会同士が連携して行う事業や、近隣商店会の合併など、区域や会員数の拡大による組織力向上を目指す取組も支援します。また、新たな商店街づくりに積極的に取り組む商店会に対する計画策定から事業実施までの一貫した伴走支援や、先進的な取組を行う商店会の事例紹介、国や東京都の支援策の情報提供を広く行い、持続可能な商店街を目指します。

### コラム

## 新たな取組で進化する商店街

豊島区では、時代の流れに対応した“新たな商店街づくり”に積極果敢に取り組む商店会を「未来を創る商店街支援事業」として東京都とともに支援しています。本事業は、商店会ごとにアドバイザーを派遣し、グランドデザイン策定から実行支援まで3年間伴走支援を行うものです。区からは、以下の3商店会が都より採択を受け、本事業に取り組んでいます。

※以下、各商店会企画書より抜粋

### 子どもに優しい商店街づくりを推進

巣鴨大鳥神社商店街では、来街者を今以上に呼び込むため、新しいコンテンツを活用した取組を商店会自ら実施しています。新たなコンテンツとして、会話ができるAI\*を商店街内にある神社などに設置し、楽しみながら商店街を知ってもらう仕組みを作ります。また、AR\*技術を活用し、商店街内を回遊できる取組を行い、子どもにとっても楽しい商店街を目指しています。

### 多彩な人が集う拠点を整備

巣鴨地藏通り商店街振興組合では、来街者がより快適に商店街を楽しめるように、イベントスペースなど多様な目的で公園と一体となって活用できる施設を整備します。

また、池袋平和通り商店街振興組合では、多世代の交流をはじめ起業家支援の拠点などを整備し“オープンに集いあえるコミュニティ性の高い商店街”を目指しています。

池袋平和通り商店街の将来イメージ図

